

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY



SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

3月29日

休会 定款第5条により

4月5日

外部卓話

4月12日

振替休会(地区大会分)

4月19日

外部卓話

VOL. 43 No.33 (通算No.2073)

2006年3月22日(水)例会プログラム

点鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

ハローワーク水海道所長



2005～2006 年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 会員卓話

長塚 暁会員、横山 修会員

ピ ジ タ ー

米山奨学生 孫 洋さん

誕 生 祝

配偶者 松崎会員

感 謝 状 田上秀雄会員

米山奨学生 孫 洋さん挨拶



こんにちは。一年間色々とお難うございました。
10回の例会に出席させていただきましたが、顔と名前は一致しませんがとても深い印象があります。4月からは社会人です。つくばの農業支援研究所で働きます。まだつくばにいますので、皆様に会いたいと思います。また、瀋陽に来られる時は是非連絡下さい。一年間お世話になり有難うございました。



幹 事 報 告 (熊谷 昇幹事)

週 報 受 理 竜ヶ崎RC

例会変更通知受理 竜ヶ崎RC 3月28日→3月30日(木) 観桜会

4月9日(日)の地区大会バスの出発時間は午前7時30分、白井石油さん前より

会 長 挨 拶 (青木清人会長)



皆様、こんにちは。

我が家の梅も満開になりました。本当に気持ちの良い季節になりました。本日はお客様として、米山奨学生の孫 洋さんにお越し頂きましたが、今日が最後となります。あっという間の一年でしたが、色々思い出も出来ました。有難うございます。これからは、日中の友好の民間人としての架け橋になってください。また、世界の医学の進歩のため活躍される事をご期待申し上げます。

さて、次年度の委員会組織を発表されました。RIの次年度のテーマ「率先していこう」に決まりました。来週末にはPETSも始まります。確実に軸足は松村年度へと移っていきます。頑張ってください。本年度若輩者の会長・幹事でクラブ運営させていただいておりますが、残り3.5ヶ月ボカのないよう取り組んでまいります。そんな時、親父の小言が効くものです。

「親父の小言と冷酒は後で効く」「高いつもりで低いのが教養」「深いつもりで浅いのが知識」「浅いつもりで深いのが欲望」「厚いつもりで薄いのが人情」

短いものでは「大酒は飲むな」「人には腹を立てるな」「ばくちは打つな」「人には馬鹿にされている」「恩は遠くからかえせ」

関根支店長の卓話でもありました「上品でなくても下品でないように」も立派な親父の小言です。

「身を削り 人に尽くさんすりこぎの その味知る人ぞ 尊し」で残り3.5ヶ月ボカのないよう務めますので宜しくお願い致します。

会 員 卓 話 「私の職業」



長塚 暁会員

私共の商売は割烹旅館であります。また手打ちそばを商っております。日本料理の形態についてお話しします。

1. 精進料理……「精進」とは、仏教の言葉で雑念を去り、身を清め一心に修行することです。殺生を戒め、肉食を禁じた仏教の教えから精進料理が生まれた。本来寺院での料理であったが、料理の形式として一般に広まったのは鎌倉時代から室町時代にかけて伝わり普及した。
2. 本膳料理……本膳料理は時代によってその内容と形式が変化する。もともと室町時代、武家の礼儀法の確立とともに形式や料理も定まり、こうした儀式的なものを「式正料理」といった。本膳料理はこれの中で供された料理を指します。料理の品数によって膳の数が決まった。一汁三菜、二汁五菜、三汁七菜が基本です。
3. 懐石料理……懐石料理は茶の湯の席で、お茶を美味しく飲むために供される簡素な食事を言う。「懐石」という言葉は、僧が寒さと空腹をしのぐため温めた石を懐に入れたことに由来し、それと同じくらいに空腹をしのげるという意味からその名がついたという。茶懐石では、飯、汁、向付、煮物、椀、焼物の一汁三菜に箸洗い、八寸、香の物を加えたものが最も基本であります。
4. 南蛮料理……江戸時代の初期にかけて諸外国との通商が盛んになり、スペイン、ポルトガルを「南蛮」と呼び、それらの国によってもたらされたり、経由して渡来した調理法を用いた料理を「南蛮料理」といった。有名な料理には、天ぷら、南蛮漬けなどがあります。
5. 会席料理……会席料理は、料理店、旅館などで出される酒宴向きの料理です。もともと「会席」とは、俳句や連歌を楽しむための会のことで、会の終わりに酒を少々飲む程度だったが、次第に乱脈になり、途中からでも酒、料理が出されるようになった。明治時代になると、関西風、関東風など地域の特徴を持たせたものや、料理人の考え方を前面に押し出したものなどが考案されるようになる。本膳料理や懐石のように飯を食べるための惣菜ではなく、酒を飲むための酒菜を中心とするもので、ご飯物「食事」として最後に出される。
6. 現在の日本料理……現在では養殖や栽培技術が進み、冷凍に代表される保存や流通経路の発達により、さまざまな材料が長期間あるいは一年中手に入るようになりました。フランス料理、イタリア料理、中国料理に限らず、世界各国の料理が流入し、人々の嗜好は多様化しています。新しい食材や世界各地の調味料も店頭に並ぶようになりました。反面、古くからの日本料理の特色とこれらの状況を結び付けてゆく難しさもある。料理は人の生活に密着しているだけに、時代が変われば次第に変化していく。日本料理の本質を見失うことなく、これらの食に関する状況の変化を上手に取り入れ、新しい領域に踏み込んでいく事が大切です。



横山 修会員

私の職業は造園業を主体とした経営を致しております。庭とは元来建物につながる空地のことで、庭を作ることを作庭といいます。園とは植物を集約的に栽培する囲われた土地の事です。造園(Landscape Architecture)という言葉は明治時代から一般化し、定義も様々であったようです。英語のgardenのganは柵や囲いを意味し、楽しみや歓びを意味するedenから生じた言葉と言われています。

造園術とは土地を美しく取り扱う術であり、人間生活上使用、快適性・享楽のため美観及び利用の目的を達するとあります。従来の日本庭園より海外様式のウエイトが多くなっている今日、建物以外の総てのレイアウトをわかり易く図面化し、商品知識を豊富に持たないと、なかなか受注には結びつかなくなっております。

現在当社では、80%が工事、20%が緑化管理となっていて、緑化管理のウエイトが年々増えています。工事については工種が多種多様にわたるため多能工の養成・採用が重要な要素となっています。私のいう多能工とは、エクステリア設置・ブロック、レンガ積み・タイル貼り・左官・庭木、庭石等の配置植え付け等何でもこなせる職人を言います。昨年の初め頃から東京都及びその近郊では建物バブルの傾向が一段と増している現状ですが、過当競争・コストの上昇等により廃業・倒産に追込まれたり、また若い世代の職人になり手が不足し、人手不足によるバブルではないかと思われます。

多種の業種に級の必要な今日、夢を描く若い人達の速実戦にはなかなか難しい問題があり、どのように養成し夢を与えたらよいか、日々頭の痛いところです。

どしゃ降りの続く建設業ではありますが、快適な生活向上創りを目標に邁進したいと思います。

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
49名	34名	15名	0名	3名

出席率 75.51%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

誕生祝御礼 配偶者 松崎会員

孫 洋さん、一年間思い出有難うございます。これからも頑張ってください。 青木(清)会員

米山奨学生の孫さん、一年間ご苦労様でした。これからもガンバッテ下さい。カウンセラーの田上会員も有難うございました。 熊谷会員

2006 - 2007年度組織表が出来ました。皆様のご協力宜しくお願い致します。 松村会員

次年度組織表を配布しました。宜しく！！ 青木(正)会員

名前もれ、すみません m(_)m 松村・青木(正)各会員

孫さん、今日で終わりですが、医学の博士号修得されおめでとうございます。 田上会員

先週欠席しました(残念でした)WBCメキシコに6 - 1で快勝しました。 松崎会員

春めいて参りました。 横山会員

例会欠席しました。 北村(英)・登坂 各会員

娘と息子の卒業、進学無事果たせました。これらが俟約です。隅屋会員に褒められました。

石塚(克)会員

入金計 ￥27,000 累計 ￥1,612,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

マッチング・グラント: 目標は、ロータリークラブと地区が他国のロータリアンと協力して、人道的な世界社会奉仕プロジェクトを遂行するのを援助する事である。ロータリー財団は、米貨1ドルの現金寄付に対し、米貨50セントの補助金を提供する。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫



2006 - 2007年度水海道ロータリークラブ組織表

理事・役員一覧

会 長	松 村 仁 寿	SAA(役員)	登 坂 寛	理 事	古 谷 榮 一
会長エレクト	大 串 卓	直 前 会 長 (役員)	青 木 清 人	理 事	斎 藤 広 巳
副会長(役員)	島 田 勝			理 事	松 崎 隆 詞
幹 事(役員)	青 木 正 弘	理 事	横 山 修	理 事	秋 田 政 夫
会 計(役員)	田 上 秀 雄	理 事	武 藤 康 之		

副 幹 事	田 上 秀 雄	副 会 計	関 根 淳		
-------	---------	-------	-------	--	--

各委員会一覧

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員	委 員
会員組織委員会	大 串 卓	草 間 春 正	染 谷 秀 雄 北 村 仁	瀬 戸 隆 海 青 木 全 弘
	会員増強	染 谷 秀 雄	松 坂 興 一	山 野 井 周 一
	広 報	瀬 戸 隆 海	五 木 田 利 明	白 井 豊
	職業分類	草 間 春 正	小 島 富 雄	皆 葉 瑞 男
	会員選考	北 村 仁	長 塚 暁	田 中 正 躬
	R 情 報	青 木 全 弘	中 川 莞 爾	鈴 木 邦 彦
クラブ管理運営委員会	島 田 勝	染 谷 正 美	北 村 英 明 石 塚 克 己 福 田 克 比 古	登 坂 寛 角 田 雅 宣
	出 席	染 谷 正 美	大 塚 令 昌	橋 本 忠 昭
	親睦活動	北 村 英 明	穂 戸 田 好 範	隅 屋 祐 三
	S A A	登 坂 寛	海 老 原 良 夫	鈴 木 豊
	プログラム	石 塚 克 己	倉 持 功 典	北 村 陽 太 郎
	会 報	角 田 雅 宣	北 村 仁	山 崎 善 市
	雑 誌	福 田 克 比 古	根 本 恒 夫	島 田 勝
	I T	石 塚 克 己	穂 戸 田 好 範	山 崎 進 朗
奉仕プロジェクト委員会	青 木 清 人	横 山 修	武 藤 康 之	斎 藤 広 巳 古 谷 榮 一
	職業奉仕	横 山 修	橋 本 忠 昭	染 谷 正 昭
	社会奉仕	武 藤 康 之	山 野 井 周 一	鈴 木 豊
	国際奉仕	斎 藤 広 巳	倉 持 功 典	橋 本 忠 昭
			石 塚 利 明	山 崎 進 朗
新世代奉仕	古 谷 榮 一	染 谷 秀 雄	島 田 勝	
ロータリー財団	松 崎 隆 詞	北 村 陽 太 郎	皆 葉 瑞 男	
米山奨学会	秋 田 政 夫	白 井 豊	小 島 富 雄	

ロータリーを話題に

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん:

私が国際ロータリー会長として、会長年度中の旅行計画を立てた際、多くのロータリアンたちに会うには、インターシティーミーティング(IM)が一番いい方法だろう、という考えに達しました。私はクラブに、同じ町や地域で開いているそれぞれの週1回の例会を、夜の合同例会に変更するようお願いしました。私は基調講演を引き受け、行事の前後にロータリアンと歓談したいと申し出ました。私はこれまで会長が訪問したことがない、あるいは長い間訪問していない地域を訪問することも計画しました。

ロータリアンの考えを知る

私はこれらの例会に大きな期待をかけていました。このような例会を数多く経験した今、私はこの方法が私の期待をはるかに超えたものであったといわなければなりません。ロータリアンとその配偶者は私にとっても親切で、感謝してくれました。彼らは両手を広げて私を歓迎し、私と話し、共に笑い、最初の瞬間から私をくつろいだ気分にさせてくれました。私はロータリアンに、私たちの組織のために優れた活動が続けるよう、また、あまり活発でない会員には、これからはより幅広く活動に参加するよう望みながら、これらの IM に出席しました。私は主に国際的な観点からロータリーの話題を提供しました。そして、私は皆さんの話を聞きました。話を聞きながら、私はロータリアンたちがロータリーの指導者に何を求めているかが分かりました。これは私たち全員にとってとても価値があります。というのは、RI 理事会メンバーが理事会室でいい仕事をするためには、ロータリアンたちは私たちに何を求めているかを、メンバーそれぞれがよく理解していることが不可欠だからです。私が出会ったロータリアンたちはいろいろな要望を述べますが、公共イメージの向上は際立った関心事の一つです。

枚挙にいとまがないロータリーの活動

ロータリアンたちの間には、ロータリーがしばしば報道関係者から忘れられているといった強い欲求不満が存在します。ポリオ撲滅計画をメディアに取り上げてもらうといったありきたりのことだけでは、国際ロータリーは、いつもでないにしても、ほとんど忘れられるだろうと思われれます。ポリオ プラスだけがロータリーではありません。ほかに、もっと多くの話題があります。

援助がなかったら飢えに苦しむことになる子どもたちに、毎日の食事を提供しているのがロータリアンです。目の見えない人々がデジタル(音声)の世界にアクセスするのを手伝っているのも、ロータリアンです。家のない子どもたちのための施設をつくっているロータリアンたちもいます。国家規模の大災害を援助するのもロータリアンです。途上国の飲み水確保に、井戸のボーリングをしているロータリアンたちもいます。生活向上のための基盤を提供するために、人々を教育しているのもロータリアンたちです。こうした活動は枚挙にいとまがありません。

公共イメージの向上を

とはいっても、私たちがどんなことをしているかを人々に知ってもらう、という面に目を向けると、私たちはもっといい仕事ができただけです。それが、アメリカ カリフォルニア州のロータリアン、メアリーマーガレット フレミング氏(第 5230 地区)を委員長として、公共イメージ支援グループを発足させた理由です。このグループは、ロータリーの話題を人々に伝えるのを手助けする上で、全世界のロータリアンたちに快く受け入れられています。私は各地での公共イメージの向上も目にしています。今後もこの取り組みを十分に活用し、みんなで超我の奉仕を通じて、国際ロータリーのすばらしい指導力を世界中に示し続けようではありませんか。

Carl-Wilhelm Stenhammar

2005-06 年度国際ロータリー会長

(RI 指定記事 提供：ロータリーの友)

2006/3/1